

令和３年度「市民と議会の対話集会」記録

—— 総務企画委員会 ——

■開催日時 令和３年１１月２０日（土） １３：３０～１５：００

■開催場所 オンラインによる開催（Zoom 利用）

■懇談先 市内に移住し定住された方（１１名）

■出席議員 総務企画委員会委員
田口文数（委員長）、長谷川透（副委員長）、
鷹見憲三、三浦八郎、櫛松直子、水野賢一

■懇談テーマ 移住定住の現状と課題について

■懇談内容

【なぜ中津川市を選んだか】

- 会社の仕事の業務内容上中津川市に来た。
- 高校時代のボート競技を通じて全国の河川を知り、恵那峡、木曽川の景観の素晴らしさに気づいた。この環境を守りたくてＵターンした。
- いつかどこかで本拠地を構える予定であった。妻が中津川市出身であるため、妻の家族に何かが起こっても、近くにいれば安心だと思いこの地に来た。
- リニアが開通することを知り、変化があり、刺激がある楽しい街になると思ったから。
- 幼少の頃から全国各地に住み、田舎と都会を経験した。やはり、自然豊かな環境で子育てをしたく、この地を選んだ。
- ２０歳代で海外各国を旅した。そこで、自然の美しさに気づいた。名古屋では味わえない自然がある。何回か来るうちに好きになり移住した。
- 林業をやりたいと思っていた。付知が林業の街であると知り来た。自然に囲まれ、付知川の美しさに感激した。
- 田舎で子育てするのが夢であった。不動産が安価に入手できたので移住した。
- 農業がやりたかった。たまたま友人がこの地で農業をやっていたので来た。
- ロードバイクが趣味で、山の近くに住み山中を走りたいと思っていた。子どもの小学校入学を期に、移住した。

【住んでよかった点】

<インフラ関連>

- 私と妻の実家の中間点に中津川市があり、実家へ行くのに便利である。
- 庭のある一軒家が欲しかったが、多治見辺りでは地価が高く、建物を建てる資金が賄えなかった。しかし、中津川市で夢が叶えられた。
- リニア開業に向け、今後インフラ整備充実が期待できる。

<環境関連>

- 地元を離れてから都会生活が長年続いた。私自身「自然に触れあいたい」と強く感じた。現在、畑で野菜を作っている。名古屋へは車で1時間くらいあれば移動でき、立地的にも非常にバランスの良い地である。
- 都会の夏は暑くて大変である。この地は涼しく過ごしやすい。
- 山に入れば山菜が採れ、動物が間近に見える環境に感激している。
- 夜の星がとてもきれいである。

<コミュニティ関連>

- 地域の人が非常に親切である。都会はどんな人が住んでいるかも分からず、また挨拶も交わさない。人口が多いが、冷たさを感じる。単身赴任先から中津川へ帰宅するのが楽しみである。
- 隣とのつながり、人と人のつながりがあり、とても嬉しい。
- 駅があり、店があり、保育園から高校まである。インフラ、教育環境も充実していると思う。
- 地域のみなさんと、物々交換などを通じて交流ができ、とても素晴らしいことだと思う。人と人との温かみを感じている。
- 人と人のつながりがあり、人の温かさを感じる。

<教育関連>

- 自然豊かな環境で子育てができ最高である。「火をつける」「思いっきり外遊びができる」。
- いなごを採り佃煮にする、餅つきをする。日本文化や風習を子どもたちは学んでいる。
- 水のきれいな付知川で、子どもは毎日のようにシーズン中は水遊びをしている。
- 娘が、虫に触れるようになった。

<福祉関連>

- 子育て支援がとても充実していると思う。
- 発達障害サポートも手厚い。

【不満な点】

<インフラ関連>

- 道路舗装の状態が悪い。凸凹が多く、水はね箇所も目に付く。
- 車を運転していても、路面ががたつく道路が多い。
- 歩道の幅が狭く、雑草の生えているところが多い。
- 娯楽施設が少ない。
- 大型店舗の誘致に力を注いでほしい。
- 大型店に偏りがあり、バリエーションにとんだ店舗が欲しい。
- 北恵那バスとJRの乗り継ぎが不便である。

<教育関連>

- 移住者にとり、医療、教育を重要視する人が多い。自然の近くに住むと充実した医療、教育が受けられないことが大きなハードルとなる。中津川市は自然を売りとしている。医療、教育レベルを下げないようにしてほしい。
- 子どもの部活動、進路にもっと選択肢があるといい。
- 教育レベルが低い。もう少し改善してほしい。

<福祉関連>

- 「子育てママ」の集まりなどの情報が少ない。
- ママ友が集まれふる場所が欲しい。
- 地域（加子母）にグループホーム、特養が少ないように思う。もっと充実させて欲しい。

＜行政関連＞

- 行政に問い合わせをしても、的確な回答がなく、たらい回しにされる。
 - 「移住定住 NO1」をもっと上手に PR すべきであると思う。
 - 子育て中は情報が少ない。どうにかして欲しい。
 - 地域の情報の入手手段がない。消防団にも入団した。縦のつながりが持てる場所が欲しい。
 - 我々の意見が本当に反映されるのか。実行されるのか。過去の状況から考えると、何も変化しないように思う。
- もっと良くなるためには、どうしたらいいのかを考え、「意見を、実施に移して欲しい」。

【参加者の自由意見】

- 忙しい中、みなさんが参加してくれた。今日の意見を大切にして欲しい。要望等が今後どんなスケジュールで実施されて行くのかを回答が欲しい。
- 市民の意見を聞いて下さり本当にありがたい。
ここで育った人間が、外に出て行ってしまっている。中津川市に魅力を感じなくなってしまう。ここを改善して行くことが大切である。住んでいる人が、納得できる環境を作ることが最も大切である。すると、「中津川いいね」と、移住・定住者が増加すると思う。
高い教育を受けた人の80%が、外部に就職している。ここで活躍できる環境づくりが大切であると思う。中津川で育ったことにプライドを持てる街づくりをして行くことが大切である。
- 今日の意見を反映させて下さい。中津川はいい街だと思う。
若者に魅力のある、活気ある、街づくりをして欲しい。
- 将来、子どもが外に出るかどうかは、本人が決めることであるが、中津川の魅力を感じ、残ってもらえる街づくりをして行かなければと思っている。
- 行政にオンラインで講座を実施したらと提案しても対応してくれない。
- 「市長と女性の懇談会」で提案したことがどうなっているのか？本当に動いているのか？どうして出来ないのか。報告が欲しい。
- 今日の時間、意見が無駄にならないようにして欲しい。
- 若者のための行政になって欲しい。「若者人口の流出を止める」。